

豊栄病院患者総合支援センター「いするぎ通信」 令和元年6月

山菜の水菜をもらった。茹でると茎の赤い色が消えて、きれいな黄緑になる。生姜味噌が美味しい。今月もいするぎ通信をお届けします。



れました(荒川歩実)。



●多職種チームでの看取りの検討会

日時:令和元年6月11日(火) 午後5時15分
場所:豊栄病院 本館5階 会議室

Pros and Cons リストを使用した模擬の看取り検討会を行います。そこで、今までの検討会で「判断できない」という結果だった症例を検討します。院外からの参加は患者総合支援センター天木まで。(柄澤良)。

●糖尿病教室

日時:令和元年7月19日(金) 午後1時半
場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール
初心者対象の糖尿病教室を隔月開催中です。是非患者様をご紹介下さい。看護、介護職員などスタッフの方々の参加も歓迎します。参加ご希望の方は地域医療連携室へご連絡下さい。次回は7月19日です(菊地博)。

●NST 勉強会

日時:令和元年6月6日(木)午後5時15分
場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール
講演:PEGと栄養材(株)テルモ
お待たせしました。問い合わせは患者総合支援センター 天木へ(小林真)



編集:連休中に数冊本を読んだ。「バッタを倒しにアフリカへ」が面白かった。本好きの山本先生に勧められて、「泣き虫しょったんの奇跡」、今読んでます。私の涙腺は崩壊するらしい。センター長柄澤良

臨床検討会のお知らせ

日時:令和元年7月9日(火) **午後7時**
場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール
講演1:看取り検討会への Pros and Cons リストの導入(仮) 柄澤良 先生
講演2:持続性 GLP-1 受容体作動薬の使用状況(仮) 菊地博 先生

●院外からも多くの参加を。参加は患者総合支援センター 天木まで。

●MSW 日誌:

老健の支援相談員をしていた頃、通所リハビリに80歳の男性がいました。脳梗塞の既往があり片麻痺が残存。杖歩行でした。妻と2人暮らし。自ら多くは語りませんがお喋りは好きで、話しかけると嬉しそうにに応じてくださっていました。通所リハビリでは歩行や階段昇降の訓練。階段昇降はとても不安定で実用的ではなかったのですがご本人の希望も強く、「ダイエットだ」と笑いながら精力的に取り組まれていました。あるとき担当者会議のためご自宅を訪問。昔ながらの長屋で階段も狭くて急で、1階の仏間がご本人の寝室でした。元々は2階が寝室で、レコードをかけて過ごすのが好きだったことを知りました。奥様にお聞きすると2階の居室はそのままにしてあり、時折息子が来た際に階段昇降の介助をもらいレコードを楽しんでいるとのこと。通所リハビリでは「ダイエットだ」なんて冗談めかしていましたが、言葉で表現されることだけではない、本来のご本人の気持ちがそこにあることに気付かさ